

2022年4月1日
第550号

(毎月1日発行)

咲いたネット

URL:

http://www.saitanet.or.jp

Eメール:

saita@saitanet.or.jp



発行所
埼玉県労働組合連合会

〒330-0063

埼玉県さいたま市浦和区高砂
3-10-11 第一木村ビル

TEL 048-838-0771

FAX 048-838-0775

編集発行人

埼玉県労働組合連合会

【定価】1部50円

(組合員の購読料は組合費に含む)



大宮駅西口での宣伝

埼玉春闘共闘・埼労連は3月10日(木)午後5時30分から、前日の集中回答を受けた全国統一行動のとりくみの流れとして、大宮駅西口で22春闘・全国統一行動の宣伝行動を実施し、全体で14団体47人が参加しました(国労大宮工場支部、さいたま地区労、JMITU、埼教組、埼高教、自治労連、医労連、コープネットグループ労組、全労連・全国一般、建交労、埼玉土建、県国公、新婦人、埼労連)。

ストライキ支援など全国統一行動
大宮駅西口で春闘宣伝



ストライキ行動 (全日赤さいたま)

埼玉春闘共闘・新島議長、コープネットグループ労組・占部委員長、さいたま地区労・前島議長、国労大宮工場支部・泉田委員長、埼玉医労連・清宮書記次長、JMITU・泉田委員長、埼高教・小澤委員長が順番でマイクを握り、それぞれ、22春闘での賃金引き上げ・最低賃金の全国一律化と時給1500円を求める訴え、コロナ禍においていのちと暮らしを守る活動、憲法を守り生かす取り組み、ロシアのウクライナ侵攻を糾弾する訴えを行いました。

9条の碑が持つ「平和希求の叫び、不戦の誓い、戦争の惨禍を再び許さない決意」は神々しく輝いている。凜として立つ9条の碑の前に、毎月9日の午前には、十数名の市民が「平和のつどい」の幕を掲げ、平和、人権、生命を大切にすることを境内に響かせている。ギター、ウクレレの音色が民主主義の大切さを醸し出しながら、詩情あふれる歌声と演奏にその場の人は心が洗われる。



春日部・9条の碑

わが地域自慢
25 春日部 9条の碑

9条の碑は、北春日部小淵山観音院の境内に建立。建設費を寄付した434名と30団体の名前が刻まれ、石碑には9条とともに憲法の前文が彫られ、碑の前には、「平和の碑」と刻印された9の字のモニュメントが立っている。

への怒りが湧きあがる。75年前、日本政府と軍部が、私たち国民とアジア諸国民にもたらした甚大な被害、惨状を深く反省して作られて憲法9条は「決して戦争を起こさない」平和外交と崇高な人道主義を世界に発信している。

春日部憲法9条の碑は、全国23番目の建立となる。この石碑は「歌声は平和のちから」を支えるエネルギーとなり、春日部市内外の平和運動のシンボルとしてますます光彩を放つ魅力がある。

(春日部労連幹事

角田範夫)

紙面から

- 3・10全国統一行動 (1面)
- 春闘期の地域のとりくみ (5面)
- 埼玉県要請・昼休みデモ (2面)
- 春闘期の地域のとりくみ (6面)
- 3・10全国統一行動 (4面)
- 埼労共のページ (8面)

2・24地域総行動

埼玉県への要請行動と昼休みデモ

埼玉連は「2・24地域総行動」の取り組みとして、埼玉県に対して22春闘期における県への要請書を2月24日に提出しました。

今回はコロナ禍での『まん延防止等重点措置』期間中ということもあり、懇談は行わずに要請書の提出と担当者への趣旨説明のみとしました。

要求の項目は、①県内の保健所を増やし、医師・看護師を増やす



要請書を提出

こと。国に医療機関への支援を要請すること。女性・非正規雇用労働者にコロナでの影響が強く出ていることから、労働相談窓口のいっそうの充実をはかること。埼玉県として労働者支援策を実施すること。②正規職員・非正規職員及び委託化・外部化された職場の労働者について、雇用の安定と人間らしく生活できる賃金・労働条件を保障するよう、模範的な雇用主としての役割を果たすこと。③外部委託に頼らず、県が責任をもつて県民サービスを行うこと。なかでも県民の命と暮らしに関わる分野については、外部委託を行わないこと。また「安ければよい」という入札のあり方を改めることや、独自の産業政策をもつなど地元中小企業支援を強めること。④公契約条例制定に向けた庁内での検討組織を設置し、埼玉連とも話し合いの場をつくること。⑤県民の暮らしを支える職員を適切に増員すること。の5項目を求めました。



浦和駅までパレード

た。

県要請後の筆休みに、県庁前から浦和駅西口までの昼デモを行い、県庁近辺の労働組合から役員や書記のみなさん、埼玉連と協力・共同をしている諸団体の代表など50人が参加しました。

昼デモの出発にあたり、埼玉連・新島議長が22春闘や憲法をめぐる情勢などにふれ、労働者・国民の世論と運動を広げようと訴えました。

デモは埼玉連宣伝カーからのコールだけにして、参加者はのぼり旗、プラスタターなどを手に、市民に「いのちまもれ」「最賃時給は1500円に」などをアピールしました。

宣伝でウクライナ侵攻に抗議 はたらく仲間の春をよぶつどい

埼玉春闘共闘、埼玉連女性部・非正規部会、労働法制埼玉連絡会主催の2022働くなかまの春をよぶつどいが2月27日(日)午後1時30分から埼玉会館7B会議室で開催され、約80人(会場41人、オンライン26回線)が参加しました。

労働条件を改善するためには労働組合に様々な権利があり、権利行使で勝ち取った成果もあり、カギは要求討議であることを話されました。これまで関わってきた労働裁判の経験から労働組合に対する工率を送られました。

はじめに事例報告があり、有期雇用雇止め問題で理研労組、偽装請負解雇撤回問題で全労連・埼玉ユニオン(SU)、ハラスメント問題で埼玉医労連から発言がありました。続いて首都圏青年ユニオンから栗原副委員長に参加してもらい、「シフト制労働の実態と規制の展望」をテーマに特別報告をしてもらいました。

休憩後は笹山尚人弁護士(東京法律事務所)が「雇用と賃金、働き方をどう守る？」をテーマに講演。

笹山さんは、労働保護制度が整備されている背景と不十分な実態にふれ、法制度の改善には労働者のたたかひが必要であること、労



埼玉会館にて

4つの職場がストライキ

JMIITUスト支援行動

JMIITU埼玉地本は、3月10日(木)の22春闘全国統一行動に合わせて、ストライキに決起し、4つの職場のリレーストライキ支援行動(第1次)を展開しました。

八潮市の東鋼業支部、蓮田市の東京セキスイハイム支部、さいたま市の大東工業埼玉分会、栃木県野木町の日信工業支部が、前日9日の回答が不十分だとして時限ストライキなどに決起し、最賃Tシャツを着たJMIITUの仲間や地域労連・地区労、埼労連からの支援を受けました。



東鋼業支部 (10日)



大東工業埼玉分会 (10日)



東京セキスイハイム支部 (10日)

埼労連は東鋼業支部と東京セキスイハイム支部に占部副議長(コ

域労連・地区労、埼労連からの支援を受けました。



日信工業支部 (10日)

ーpNetトグループ労組委員長)が参加、大東工業埼玉分会に前島副議長(さいたま地区労議長)、

野木町の日信工業支部に新島議長がそれぞれ参加して激励と連帯のあいさつをしました。

支援行動終了後は、大宮駅の宣伝に合流し、労働者の厳しい実態を訴えました。

また、翌週の17日(木)にも第2次支援行動を行い、久しぶりとなる芝浦電子支部の他、東京セキスイハイム支部、東鋼業支部が経営者要請行動、日信工業支部は先週に続いて2回目となる90分の時限ストライキ行動を行い、10日同様JMIITU各支部の仲間と、地域労連・地区労の仲間が参加

し、ストライキの激励と経営陣への訴えをしました。

埼労連からは、芝浦電子支部に新島議長、日信工業支部、東京セキスイハイム支部、東鋼業支部には加藤幹事が参加し、それぞれあいさつや要請を行っています。

JMIITU埼玉地本では22春闘での大幅賃上げ実現に向けて3月24日に、決起集会も予定しています。

国会議員へ要請

埼労連は3月3日に、全国一律最賃制度への賛同を求める国会議員要請をしました。今回は、昨年の総選挙で入れ替わった埼玉選出の衆議院議員25人を対象に、要請項目を「全国一律最低賃金制度を求める請願署名」の紹介議員になってもらうことに絞りました。

当日は、埼高教、埼玉土建、コ一pNetトグループ労組、全国一般から全体で8人が参加し、4班に分かれて要請を行いました。

要請行動では、すべて秘書が対応しましたが、維新の会の秘書から「自分は前に大野知事の秘書を



芝浦電子支部 (17日)

やっていた。労働組合にはお世話になった」と好意的に話してくるなど、どの議員の秘書も対応が良く、自民党議員の秘書からも「今、務台議員の下(環境省)で仕事をしている。いろいろ勉強させてもらいます」など、国政のなかでも最賃の課題が広まっていることを実感できました。

後日、坂本祐之輔議員(比例北関東・立民)の事務所から「紹介議員になります」と連絡が入り、新たな紹介議員も獲得することができ、全体として取り組みへの確信を持てる行動となりました。今回見えなかった議員や参議院議員への要請も行っていく予定です。

民間単産がストライキなど実施 3・10全国統一行動

医労連・埼玉民医労

3月9日(水)の全国一斉回答引き出しを受けて、3月10日、埼玉医労連の職場ではストライキを含む行動に決起しました。

埼玉民医労では川口市の埼玉協同病院の職場で、ベースアップなどを求めて午前8時30分から1時間のストライキ行動に決起、3支部35人が参加しました。民医労では、コロナ対策などでの特別慰労金回答がありました。組合が強



埼玉協同病院

く求めていたベースアップについては歯科医師と歯科衛生士にベースアップ回答があったただけなので、回答上積みも求めてストライキを実施しました。

ストライキ集会では、小野委員長が回答内容を説明しました。スト支援に参加した埼玉連・北村副議長(埼玉教組委員長)、藤田・埼玉医労連書記長、年金者組合川口支部からの激励あいさつを受け、老健支部から介護職員、協同病院から看護師、本部から事務職の3人が職場の状況を発言しました。最後に、4月の交渉に向け、職場討議と支部交渉の開催など今後の提起をしました。

福祉保育労

福祉保育労埼玉県本部は、各職場が3月10日(木)の全国統一行動にとりくんだ職場の行動を集約しています。

現場の実情に合わせた工夫した取り組みが行われ、こぼと保育園分会では28人の組合員が1日ワッ



こぼと保育園

ペンをつけて働きました。こぐま保育園分会では、保護者に向けてアピール展示と、組合員13人が1日ワッペンをつけて働きました。



こぐま保育園

建交労

22年春闘勝利と魅力あるトラック産業をめざして、建交労の東京と埼玉トラック部会は3月13日(日)、3年ぶりにトラックパレードを実施しました。

コロナ禍ということもあり、台数と人数を絞って、トラック15台、埼玉連宣伝カーを含めて3台、乗用車3台が、葛西トラックターミナルに集合しました。

各車両に、「22春闘に勝利しよう!」「長時間労働を改善し過労死なくそう!」「適正運賃収受し大幅賃上げを実現しよう!」などの横断幕を貼り付けたあと、決起集会を開催しました。

東京トラック矢島副部会長が開会あいさつをした後、中央本部・角田委員長や東京地評・屋代事務局次長、首都圏交運共闘・舞弓事務局次長からあいさつを受けました。

その後、埼玉トラック奥貫部会長が決意表明、鈴木事務局次長からスローガンと行動提起が行われ、「団結頑張ろう」で集会を終了した後、葛西トラックターミナルか



建交労トラックパレード

ら永代橋、鍛冶橋、数寄屋橋、銀座を経て新橋、浜離宮までパレードを行い沿道の都民にアピールしました。

春闘情報

22春闘は、JMITUがストライキなど2回の支援行動(3月22日現在)を行い、妥結に向けて交渉を継続。建交労は首都圏運輸が16日の交渉で妥結。医労連は埼玉民医労などが交渉を継続しています。

春闘でのとりくみについて、活動ニュースや交渉結果などの情報を埼玉連に寄せてください。生活改善めざして最後まで奮闘しましょう。

2・24を中心とした 各地域のとりくみ

行田地区労



行田地区労 (学習会)

行田地区労は2月17日(木)夜に2022春闘の結節点として、地域総行動に取り組みました。自民党・公明党の与党だけでなく、日本維新の会や国民民主党などの一部野党も憲法改悪にすり寄るなかで、「日本国憲法に基づく生存権と労働問題」の学習会を行田市「みらい・文化ホール」で開催し、54人が参加しました。

行田地区労での地域総行動はこれまで、各界の識者を講師に招いた学習会を行ってきました。今回講師は、憲法学者・東京都立大学の法学部教授でニュース番組などでもコメンテーターとして出演されている木村草太さんです。講演は、日本国憲法の社会保障と女性の権利条項の草案に関わったベアテ・シロタ・ゴードンさんの話を切り口に経済的自由だけでは社会的・経済的弱者の生存権が守られないこと、憲法にもとづく労働法の一方で増加している非正規雇用者の課題があることなどが語られました。

後半の自民党の改憲案では、①自衛隊明記、②緊急事態、③合区解消、④教育充実の4項目にわたって説明がありました。とくに自衛隊明記に関しては、「これまで自民党は『自衛隊は合憲』としてきた。違憲性をなくすために改憲なら自民党自身のこれまでの立場と矛盾する」と自民党の改憲論理の矛盾を指摘されました。今回の学習会は、コロナ禍のまん延防止中ということで当初予定した会場から広い会場への変更や

さいたま地区労



さいたま地区労 (桜区)

検温・消毒対策のための要員確保などの苦労もありましたが、組織内だけでなく地域からの参加も得て、仕事と暮らしに関わっての憲法の大切さを学ぶことができました。行田地区労でも2022春闘勝利と合わせて、夏の参院選勝利をめざした取り組みをすすめていきます。

さいたま地区労の地域総行動は2月19日(土)の桜区集会から始まり、土台公民館講座室で7団体25人が参加して行われました。

集会は、まず実行委員長あいさつを受け、来賓あいさつ(久保み

き日本共産党市議、前島英男地区労議長)がありました。久保市議は市政報告を兼ね、前島議長は春闘情勢を中心にふれながら話しました。続くメッセージ紹介(国民春闘埼玉県共闘会議、日本共産党国会議員団)のあと、参加団体のリレートークがあり、各団体の要求や状況報告がされました。

最後にアピール(案)提案をし、参加者全体で確認しました。

加須労連

加須労連は実行委員会を組み、2月24日(木)午後7時から加須市・千方神社で2・24加須地域総行動を開催し、新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながら集会とデモ行進を行いました。加須市内の5団体(埼玉土建・年金者組合・新婦人・生健会・医療生協)から73人が参加しました。

集会で岩崎加須労連議長が「最低賃金全国一律1500円以上の実現、社会保障及び教育の拡充、憲法9条改憲反対、消費税率5%への引き下げなど、引き続き要求実現に向けて行動していきますよ

う」とあいさつ、各団体や来賓の日本共産党市議・立憲民主党市議・社会民主党加須総支部代表からあいさつがありました。

閉会後は、寒風のなかデモ行進に出発。「どこでも、だれでも暮らしにいいける賃金を求めよう」「憲法改悪を狙う岸田政権は許さない」「国は医療・検査体制を整備しろ」「原発はなくそう」とアピール。今年も飛沫感染を防止するため、行進者のシュプレヒコールは行わず、宣伝カーでのアナウンスのみ行い、旗やプラカードを持ち行進しました。

参加者からは「集まって開催することができてよかった」などの感想が寄せられました。



加須労連 (パレード)

2・24を中心とした 各地域のとりくみ

春日部労連

春日部労連は2月23日(水・祝)午前11時からホスト会場の埼玉葛教育会館と各労組をオンラインでつなぎ、22春闘勝利組合交流集会を開催しました。

埼玉教育会館の会場は予定した椅子や資料もなく、予想以上の盛会でした。今回は地域総行動に向けた事前学習会がコロナの関係で延期し、23日の交流集会といっしょに実施することとなりました。

自由法曹団の柳重雄弁護士を講



オンラインで決起集会 (春日部)

師に、「コロナ危機と新自由主義そして憲法」をテーマに話してもらいました。日本の賃金が24年にわたって上がらず、イタリヤ・フランスが2倍も上がっていること、働く者の賃金が上がらないどころか下がる一方の日本。わかりやすく、とても参考になったと評判でした。

今年の2・24地域総行動で春日部では各労組の要求実現にこだわって、参加組合数にこだわった行動にしようかと奮闘しました。その反映が、自治体に向けた春闘要求書でした。加盟組合の総意にもとづく要求をつくらうと、第1に挙げたのは住宅リフォーム助成制度の実施、そのほかケア労働者らへの賃金引き上げ、小中学校のトイレの改善、最低賃金を時給1500円への引き上げなどでした。実現可能なところから要求書にまとめ提出しましたが、打ち合わせの段階で、住宅リフォーム助成制度は4月から実施することがわかり、ケア労働者への手当も不十分な

らも実施されることが判明。春闘は労働者の要求が実現されることこそが中心の課題なので、今回の交流集会では春闘要求書づくりが春日部労連と参加者の確信になりました。

「労働者の怒りはどこにあるのか、暮らしのなかにきつとある」「労働者の怒りを共有し、怒りを要求に変える春闘に頑張ろう」と決意を新たに集会でした。リモート参加だったので、コープネットグループ労組の仲間や、初めて春日部労連の学習会に参加してくれた医労連の若者など、参加という点でも集会の貴重な成果として今後に生かしていきます。

AOI労連

上尾桶川伊奈地域総行動は2月24日(木)午後6時30分から上尾文化センター小ホールで開催され、55人が参加しました。

コロナ感染対策でデモ行進は行わず、集会のみとなりました。事前行動として各自治体へ埼玉労連の要求書に公契約や小中学校の統廃合問題など地域要求も盛り込んで要請行動も行いました。



上尾文化センター (AOI労連)

メインの学習会は、労働者教育協会常任理事の原富悟さんを講師に招き、「日本国憲法が生きる安心社会へ」をテーマに日本社会の問題点を学習しました。原富さんは、年金・健保問題での高齢者と現役世代の関係を入り口に、資本主義社会の仕組みをわかりやすく解説し、日本社会が、低賃金によって格差・貧困が拡大しており、困っている人を助ける社会保障の最低保障も問題が多いこと、生活要求にもとづく賃金・雇用・社会保障要求が必要で政治と暮らしを結びつける必要があることを強調しました。そして、憲法を守り活かすためには、今度の参院選で改憲勢力に3分の2の議席を取らせ

ないことが必要であり、そのために学びあい議論し、世論を広げる、暮らしに引き寄せた憲法議論が必要と訴えました。

所沢地区労

所沢地区労は、2・24地域総行動を延期せざるをえませんでした。22春闘の山場である3月10日(木)の春闘全国統一行動日に合わせて所沢駅前での宣伝行動を実施しました。

市川議長が最賃Tシャツを着て春闘での賃金引き上げ交渉の大切さと、最賃時給は1500円にしようと呼びかけました。

参加は5団体22人で、元気な宣伝ができました。



所沢駅宣伝

2・24を中心とした 各地域のとりくみ

北足立南部地区労

朝霞4市地域総行動市民集会在

2月24日(木)夜、地区労事務所をメイン会場に、サブ会場の土建新座支部事務所、土建朝志和支部事務所、新座市職員組合事務所、和光中央公民館と個人のZoomをつなぎ、全体で21団体98人が参加しました。主催者を代表して小野副実行委員長が「埼労連の方針で、まず学び本質をつかみ、1人だけで頑張らない対話をしながら



今年もオンラインで

仲間と一緒に考えて仲間を増やし組合や地域運動を豊かにしていこう」とあいさつしました。

続いてNPO法人医療制度研究所副理事長の本田宏先生を講師に招いた学習会です。「日本の医療はなぜ弱体化したのか、再生は可能なのか、新型コロナウイルスで明らかになった医療・社会保障崩壊」をテーマに、本田先生は「日本の医療制度や社会保障がいかに諸外国と比べて脆弱であり、そのことを政府やマスコミは巧みな手法で、国民にその情報を提供している」と話され、コロナ禍で、日本の医療制度が抱える問題点についてわかりやすくユーモアをまじえて講演していただきました。

地域から報告では、朝霞地域から埼玉土建のアスベスト闘争について、志木地域からは、国道254号バイパスのその後について、和光地域からは、理研の雇い止めについての闘いの報告、新座地域からは、新座市の財政問題について報告がありました。

上蘭事務局長が閉会のあいさつで「春闘闘争に奮闘し、ロシアのウクライナ侵攻、自公政権が企む憲法改悪の策動を阻止するためみなさんのご協力を」と訴えて終了しました。

鴻北労連

鴻北労連は、2月24日(木)、

「コロナ禍の今、景気回復には大幅賃上げが必要です!」「いのちと暮らしを守るため、ただちに医療体制の拡充を!」「国民春闘で共同を広げ、要求を勝ち取ろう!」などを掲げて、鴻巣市実行委員会が市内宣伝行動を行いました



鴻巣市内で宣伝

た。

鴻巣地域では、当日早朝から市役所前で通勤職員に向け「コロナを理由にした賃金抑え込みや雇い止めは不当です。労働組合と一緒で声をあげましょう」と訴えました。その後、市内の3駅などで「大企業の内部留保をはき出させて、賃上げと地域経済の活性化を求めましょう」などの宣伝を行いました。

草加八潮地区労

草加八潮地区労は2月3日(木)に、地域総行動に向けて中

立労組や連合労組、商工会やJAなどを訪問し、市民集会へのお誘い、改憲阻止署名などの依頼をしてきました。地区労役員のほか、民商や新婦人の役員など6人が参加しました。

当日は午前9時30分から草加市内チームと八潮市内チームに分かれ、JAの新田支店、草加支店、谷塚支店、ハローワーク草加、草加市商工会議所、八潮商工会、東武バス労組、石福金属労組、理研ビタミン労組、クレシア日本製紙

労組、草加八潮医師会を訪ねました。また、自治体要求書提出で草加市役所広聴相談課へ出向き、市農業委員会事務局にも足を運びました。

東武バス労組では、憲法署名や最賃署名のほか、市に対してのインボイス導入反対と消費税ゼロの請願運動を紹介しました。東武バス労組の方は「草加、八潮、三郷の営業所から約100人が三郷地域メーデーに参加している」などの話を聞きました。石福金属労組は労組委員長が対応してくれ、「賃上げ要求はしています」などの話を聞きました。クレシア日本製紙労組も委員長が対応、最賃や憲法署名の要請ができました。

草加市商工会議所では専務理事と懇談ができ、最賃署名の要請ができたほか、市内の企業をめぐる話が聞けました。草加八潮医師会は事務局長が対応してくれましたが、コロナ・オミクロン株感染への対応について、「住民が保健所と連絡が取れず、地域の医院へコロナ患者が押しかけざるをえない状況。これ以上の対応は無理な状態」などの深刻な現状を伝えてくれました。

学んでみよう

II書籍の紹介II

1. 「社会保障運動入門 人間らしく生きるために」

みんなが安心して生きていけるような条件、社会環境をつくっていくための活動をすすめていくのに大いに参考となる一冊です。5章立てで社会保障運動の大枠(1章)、制度(2章)、理念(3章)、運動(4章・5章)でまとめられています。労働総研社会保障研究会と埼玉連元議長の原富さんが編著されています。

1320円(税込)

2. 「安民法制違憲訴訟 私たちは戦争を許さない」

2015年9月19日の未明に強行採決で成立された新安民法制は、戦争への道を切り開く憲法9条の実質的改定が内閣による「解

釈改憲」という前例のない政治的手法、しかも、それは法解釈ではない虚偽による不正行為によって実現されるに至りました。そして平和憲法を死守する決意人間としての生き方を正面から問うていく闘いと位置づけ、2016年4月の東京を皮切りに25件の訴訟が提起されたことからはじまりました「安民法制違憲訴訟」について、意義と到達点・司法に何を問っているか・判決の評価・戦後の平和訴訟の歩みについて記されています。この訴訟には伊須先生や小内先生も常任的立場で関わっています。

1320円↓1000円(税込)

※数量限定で取り扱っています



わが青春つきるとも



5月9日(月)の上映会の前売り券販売が始まりました。

埼玉会館小ホール
①14時②18時

各回とも30分前に開場・全席自由席で先着順となります。

前売り券をご希望の方は、埼玉連まで(担当・山崎)

組合員とその家族については、一般1300円、学生1100円

のところ900円で販売します。

【その他の県内上映会情報】

決定：4月23日(土)・川口、5月4日(水・祝)・草加、5月7日(土)・行田

予定：8月11日(木・祝)・熊谷、8月14日(日)・狭山、9月24日(土)・上尾

*県内でご覧の場合、組合員とその家族に限り、前売料金が900円を超えた差額を助成します。

4月の上映案内

4月の上映はジョニー・デップ 製作・主演。水俣病を世界に知らしめた写真集「MINAMATA」を題材に描いた伝記ドラマです。

主演に写真家ユージン・スミス役にジョニー・デップ。日本から真田広之らが参加しています。

日時 4月26日(火)
①10時30分②12時20分
③14時④15時50分
⑤18時30分⑥20時20分

場所 埼玉会館 小ホール



埼玉共の入場整理券を利用すると900円でご覧いただけます。

問合せは、埼玉映文協
048-822-7428

【予告】
5月は、25日(水)

「荒野に希望の灯をともしく医師・中村哲の35年間の軌跡」を予定しています。

フードバンク

第70便

埼玉連の3月のフードバンク活動は、3月4日(金)、フードバンク埼玉運営協議会にフードバンク第70便を届けました。

今回はSUなどから、カップラーメン、インスタントラーメン、お菓子、お茶、飲料水、缶詰などが提供され、全体で6キログラムになりました。



フードバンク第70便

引き続きフードバンク活動への協力をお願いします。